



週報

■10月は、『経済と地域社会の発展月間』

第1497回例会 2017年10月19日 Vol.32/No.15

■本日の例会／第1498回 平成29年10月26日(木)

●会長挨拶

職場訪問 MRT (株) 宮崎放送

【出席率状況報告】

- ・会 員 数…………… 54名
- ・出 席 者…………… 27名
- ・欠 席 者…………… 27名
- ・出 席 率…………… 50.94%
- ・10/ 5の修正出席率…79.25%

■会長挨拶



田中 寿 会長

福井県の中学生の苛めによる自殺が報道されていますが、学校でのキャリアに関する仕事をしている関係で、いろいろな学校を訪れる機会が多い。

その中で良く感じる事なのですが、私たちが必ず担当の先生に事前に尋ねることが有ります。

『生徒の中に発達障害の傾向がある子や、自閉症の傾向を持つ子供はいませんか』と言う事です。例えばそういう傾向を持った生徒がいた場合には、いろいろなワークをする際に、彼らに問いかけたり、彼らに質問したり、彼らの答えに対する私たちの対応に関して注意をする必要があるからです。

しかし、この問いに関する教師たちの対応に私はもの凄く疑問を感じる事が多々あります。教師たちが『該当する子はいません』と答えた場合でも、100人の生徒が居たらほとんどの場合その中に2・3人は私たちがみて恐らくそうじゃないかなと言う生徒がいます。

極論すれば、敢えて見て見ぬふりをしているようなケースさえあります。

たとえば表現が適当かどうか分かりませんが、私は左利きです、僕らの学生の頃に左利きはクラスに1人いるかいないかだったと思いますが、いまそれと同じくらいの確率で発達障害等の傾向を感じる生徒が居る様な気がします。

今回の報道の中でも、当初一部のマスコミは亡くなった生徒は発達障害の可能性があるという事を報道していましたが、ある時から全くそこには触れなくなってしまいました。

当初の報道が間違っていたのかもしれませんが、いま私たちが知り得る情報の中で生徒がなぜ怒られたのか?と言う理由がいくつか出ていますが、他の生徒に比して宿題の提出が遅い、苦手なものが多い、人付き合いや簡単なことが上手くできていないなどと言う点を考えたら、なんとなく発達障害が疑われるような気がしてなりません、もしそうだとすれば、教師がその知識を持っていれば知り方も自ずと違っていたのではと思ってしまう。

数多くの学校を訪れて仕事をする中で、現在の教員の養成のシステムや修学の内容が現代にマッチしていないのではと感じることが多々あります。以前、糸数先生の卓話に合ったように、さかなクンがいい例です、そういう障害を持ったために学校生活からフェードアウトしそうな生徒をきちんと理解して育てる事が出来れば、立派に社会に出て自立できるという例ではないかと感じています。早い段階で見つけて医療の専門の先生方とタッグを組み、医学的処方と併せて教育をするべきではないかと思う次第です。

■幹事報告

生駒俊明 幹事



1. 本日のクラブ協議会

当初19:00からと申し上げましたが、18:40位には食事が出来る事に成りました。

2. 大重年度の活動記録誌が各会員のBOXに入れてあります。

3. 11月2日分区のロータリー勉強会がマリックスで行われます。是非参加して下さい。 18:30～

4. 職場訪問の案内(再度)

次回10月26日(木)12時よりMRT宮崎放送です。よろしくお願ひします。

■**ロータリー情報研修** 鳥山 浩 委員長



ロータリー勉強会第19回を開催いたします。今回から新入会員(3年未満)を対象にロータリーの基本情報シリーズを計画しておりますので多くの会員のご参加をお願いいたします。

11月2日(木)18:30~20:30

ホテルマリックス 2階

■**会員卓話**

小村賢一郎 会員



皆様こんにちは。先日は私共の為に歓迎会を開いて戴きまして誠に有難うございます。今後とも私たち新人3名を宜しくお願ひ申し上げます。

不肖 小村、約3年ぶりに中央RCに戻って参りました。

これを押川先生や田島先生の間業用語でいいますと、「こむらがえり」と言うみたいです。

思い起こせば20年前の私は、先輩方からの頼みや命令に対して NO! という言葉は与えて貰えず、全ては YES! の返事だけで色々な先輩方のお遣い...要するにパシリに精を出していました。

但し、その事自体全く嫌ではありませんで、むしろ先輩方と付き合せて貰えることが嬉しく思う毎日でした。恐らく中央RCの歴史上最年少の33歳での入会だったからこそ、いじって貰えたのだと思います。そんな私も、今ではかなり横着になりました。

今回、一度退会した私を温かく迎えて戴いた宮崎中央RCの皆さんに心から感謝している次第です。3年前、私の勝手に退会を決めた時の先輩方と同輩が幾度となく開催して下さった引き止めの会の事も一生涯忘れることはありません。

さて、暫く例会からは遠ざかっておりましたが、その間も片木会員や平松パスト会長、藤原パスト会長や田中会長をはじめ沢山のロータリアンの皆さんとは月2回ぐらいのペースで頻りに会っておりましたので、再入会案内を戴き、あっけなく逃亡生活に終止符を打つ事とあいになりました。

さかのぼる事20年前のH9.11.20 ご縁があつてここ宮崎中央RCに入会させて戴くことになりました。当時私のスポンサーは土地家屋調査士の野田さんで、一生懸命RC活動をされる方で、皆さんから敬意を込めて通称“ロタキチ”と呼ばれていらつしました。

或る日、野田さんと今は亡き事務局員の鎌田さんと二人で弊社にやって来られ「3か月でいいからロータリー入らんね?」と誘われ、そのままズルズルと引きずり込まれたのを昨日のように覚えております。鎌田さんは前の中央担当の事務局員さんでした。

私には同日入会がもう一人いましたが今はその栄進学院・立元塾長も退会されておられません。

ただ、入会した日に「辞めるなら一緒に辞めようや!」なんてくだらない約束を交わし、それを絵に描いたかのように3年前に実行に移しました。

1年先輩に平沼パスト会長と松浦パスト会長がいらつして、5年後に長友春雄会員と長友久人会員、7年後に黒木陽子会員と田島パスト会長が入って来られましたのを覚えております。私が入って5年間19人もの入会がありながら、今現在残っている人は誰一人としていません。

2011~12年度平松会長のもとで幹事を経験させて戴きました。

その年は約50回の例会を一度も休まずホーム100%出席で終えることが出来ましたが、叔父の葬儀にも出席せずRCの例会を優先させましたところ、親戚一同よりかなり叱られたのを今でも覚えております。

現在も2011~12年度会長幹事会が継続中で、平松パスト会長と一緒に年に3~4回は

発行/ **宮崎中央ロータリークラブ**

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
 ●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
 会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明

参加しております。幹事同期会も同時に今なお続いており、仲間の絆の強さを感じています。

平松年度からさかのぼること3年前、平沼年度でSAAをさせて戴いたのですが、あの時は面高幹事が年度途中で病に倒れ幹事不在となり、中央RCも大変な事態になり激動の平沼年度でしたが、この窮地を平沼パスト会長は持ち前の敏腕で切り抜けて見せました。副幹事の長友久人会員も頑張ってもらっていました。と言うわけで、若干33歳JCエイジで宮崎中央RCにご厄介になり、また54歳で再びご厄介になり参りました。もう中央でも物故者を16人ほどお見送りしております。これからも見送り続けて行く所存でございます。

■会員卓話

平沼正二 会員



現在の就職状況は完全に売り市場。

雇用する側にとっては、厳しい状況がここ暫くは、続くものと思われる。

事実、働き手となる20才～60才における人口は、5年前と比べ、約500万人近くも減少。

しかしながら、この間、5年前と比べ、就業者は185万人も増加していると発表がされている。これはどう言う事を意味するのか、実態は増加した就業者の大半、94%を65才以上の高齢者が占めており、25才～44才においては、逆に94万人に昇る減少を記録している。

今現在、シニア世代と女性の活用で、何とかやりくりしている状況。

現在以上に人口減が予想される今後、本当に国力と生活レベルの維持が計れるのか、心配でならない。

そこで、本県における雇用状況である。

県都として、唯一、人口が増加し続けていた宮崎市が2014年から減少に転じ、16年には40万人を割り込む事となった。

出生数を死亡数が上回る“自然減”に初めて転じ、今後は拡大していくものと思われる。

又、進学や就職において、転出数が転入数を

上回る状況も看過出来ぬ事である。

さて、県内における有効求人倍率は、1.4～1.5倍程度で推移。県内企業を対象とした、人手に関する調査においては、「かなり不足」「やや不足」を合わせて70.1%が不足していると回答している。

次に新卒者における問題である。

県内の高校卒業生において、県内就職率は(昨年)全国平均81.3%を大きく下回る54.8%で、21年連続最下位。

県外で大学に通う学生も地元で就職しない者が多数を占める。

県外との大企業と伍して、待遇面で接する事とは、厳しさがあると思うが、それ以外において取り組むべき課題は、残されていると思う。

一方、本県においては、今年から3年以内に県外大手企業の進出、店舗拡大が予定、実施されており、3社にて合計2000名を超す採用がなされるとの事。

就職者にとっては、好材料の反面、地方中小企業者にとって、本当に厳しい状況が続くものと思われる。が、しかしAI導入により、多方面にて省力化が進み、数年後は違った状況も予想され、ここ数年が本当の意味で踏ん張り所である。

出席委員会報告

長友久人 委員

◆10/5メイクアップ者名 (敬称略)

井上真由美、江島 寛、片木重光、黒木陽子、佐藤龍三郎、湯浅敏幸、志戸木和孝

ハッピーボックス (敬称略)

●平松 寛…地区大会の九月三十日の会議中に、体調が悪くなり、田島先生、生駒幹事、黒木雄一氏に同行いただき、市郡医師会から善仁会と回り、結局医大の救急救命室に入院し、十六日間お世話になりました。病名は難しいのですが、毎年入院で、皆様に大変御迷惑おかけしました。節制に努めます。有難うございました。

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市宮田町10-25 宮田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288

●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30～13:30)

会長/田中 寿 副会長/山川 力 幹事/生駒俊明